

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（11月）

令和6年11月15日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 生育観測ほ収量調査結果（）内は平年比

「まっしぐら」（管内8地点平均）の収量は平年より多く（104）、玄米千粒重は平年よりやや重かった（102）。

「はれわたり」（管内4地点平均）の収量は前年並（101）で、玄米千粒重も平年並だった（99）

<収量調査データ>

品種	調査地点		全重 (kg/10a)	わら重 (kg/10a)	精粳重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	屑米重 (kg/10a)	玄米千粒重 (g)	
まっしぐら	八戸市 市川	本年	1,827	770	1,003	711	82	22.8	
		平年	1,777	875	863	619	55	22.4	
	五戸町 根前	本年	1,227	508	679	504	32	23.5	
		平年	1,680	770	865	650	38	22.9	
	管内8地点平均		本年	1,543	650	850	615	55	23.3
			平年	1,604	767	798	594	38	22.9

品種	調査地点		全重 (kg/10a)	わら重 (kg/10a)	精粳重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	屑米重 (kg/10a)	玄米千粒重 (g)	
はれわたり	八戸市 島守	本年	1,321	586	707	539	16	23.0	
		前年	1,499	682	775	596	10	23.4	
	三戸町 斗内	本年	1,492	602	868	673	28	23.7	
		前年	1,283	515	726	568	3	23.9	
	南部町 苫米地	本年	1,632	736	855	627	39	23.1	
		前年	1,807	850	882	648	26	22.7	
	田子町 原	本年	1,508	647	823	607	39	23.3	
		前年	—	—	—	—	—	—	
	管内4地点平均		本年	1,488	643	813	611	31	23.1
			前年	1,530	682	795	604	13	23.4

(2) 品質

八戸農協の1等米比率（11月7日現在）は、まっしぐらが93.0%、はれわたりが95.7%であった。

主な落等要因はカメムシ被害による着色粒だった。

2 大豆

八戸市市川地区では、例年並みの10月26日から収穫作業が始まり、11月9日で終了した。五戸町倉石中市地区では11月11日から収穫作業が始まった。収穫作業は例年と比べて遅れている。収量については、現在調査中である。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

ア 生育観測ほ

本年の収穫は、11月20日以降を予定している。10月10日調査同様、平年より細長い形状と考えられる。

なお、担当農家は、生観ほ以外のほ場を掘り取りしているが、例年より平いもが多いとのこと。

イ 一般ほ場

成いもの収穫は、11月8日頃から始まっている。

(2) 今後の対策等

いもに障害が認められるほ場や排水不良のほ場では、いもの腐敗を防ぐため、年内収穫に努める。

2 にんにく

植付け作業は、9月下旬から10月上旬の降雨や稲刈りとの競合により、平年より遅くなった。始まり(5%)は平年より6日遅い10月3日で、最盛期(50%)は平年より7日遅い10月13日、終わり(95%)は平年より4日遅い10月20日であった。10月10日頃までに植付けたほ場では萌芽が確認されており、現在は芽出作業中で、生育は順調である。

生育は、管内4カ所平均値で、草丈24.3cm(平年比161%)、生葉数3.5枚(平年比130%)となっており、地上部の生育は平年を大幅に上回っている。病虫害の発生はみられない。

表2 にんにく生育観測ほの生育調査結果

(11月11日調査)

調査地点	年次	品種系統	植付日(月日)	マルチ	草丈(cm)	生葉数(枚)
五戸 (桜沢)	本年	白玉王	10/6	グリーン	29.9	3.7
	平年		9/29		13.3	2.5
	前年	白玉王	10/5	グリーン	15.7	1.8
倉石 (又重)	本年	在来種	10/2	グリーン	20.7	3.7
	平年		10/1		19.0	3.2
	前年	在来種	10/4	グリーン	21.3	2.7
新郷 (扇ノ沢)	本年	在来種	10/3	グリーン無穴	21.5	3.2
	平年		10/3		14.9	2.5
	前年	在来種	10/1	グリーン無穴	27.5	3.7
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	9/28	グリーン	25.0	3.5
	平年		9/30		13.3	2.6
	前年	白玉王	9/30	グリーン	27.5	3.7
4か所平均	本年				24.3	3.5
	平年				15.1	2.7
	前年				23.0	3.0

注1) 平年値について

五戸は、R7から調査地点変更

五戸:H27年～R6年までの過去10年間の平均値(参考値)

旧倉石:H27年～R6年までの過去10年間の平均値

新郷:H27年～R6年までの過去10年間の平均値

田子:H27年～R6年までの過去10年間の平均値(黒マルチのR2を除く)

表3 病害等発生率調査結果

場所	さび病	欠株※	二本立ち
五戸	0%	1%	5%
倉石	0%	0%	6%
新郷	0%	0%	5%
田子	0%	2%	5%

※ 未萌芽含む

(2) 今後の対策等

ア 降雪前に芽出し作業を行う。

イ 越冬後のほ場の排水を促すため、明渠設置など排水対策を行う。

3 いちご

(1) 生育の状況

ア とちおとめ

草高は 15.9cm (平年比 71%) と平年を大幅に下回っている。
調査ハウスでは、頂花房の収穫中となっている (11/8 から出荷始め)。

イ よつぼし

草高は 12.0cm (平年比 64%) と平年を大幅に下回っている。
クロバネキノコバエ類、ヨトウムシ類の発生が見られる。
調査ハウスでは、頂花房の 6 割が開花している。

表 4 いちご生育観測ほの生育調査結果 (11月11日調査：八戸市市川)

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)	クラウン径 (mm)
とちおとめ	本年	9月3日	15.9	9.8	9.1	7.6	19.6
	(平年比)	(10日遅い)	(71%)	(76%)	(92%)	(94%)	(122%)
	平年	8月24日	22.3	12.9	9.8	8.1	16.1
	前年	8月25日	28.5	17.1	11.7	9.7	17.3
よつぼし	本年	9月25日	12.0	7.1	8.3	6.8	15.3
	(平年比)	(10日遅い)	(64%)	(58%)	(83%)	(82%)	(85%)
	平年	9月15日	18.8	12.2	10.1	8.3	18.0
	前年	9月19日	19.2	12.5	10.5	8.8	18.3

注) 平年：「とちおとめ」：平成 17～令和 5 年の 19 か年平均

但し、定植日については平成 28 年～令和 5 年の 8 か年平均

「よつぼし」：平成 30～令和 5 年の 6 か年平均

(2) 今後の対策等

ア 適正な温度管理

イ うどんこ病、ハダニ類、クロバネキノコバエ類、ヨトウムシ類などの病害虫防除を徹底する。